

新法人・リニューアルオープン・新しい飲食店
新しい地域おこし協力隊・産業づくり支援員

沼田町に続々と！

本年4月から町の支援もあり新法人の設立、飲食店では移転リニューアルオープンや新しい飲食店ができるなどうれしいニュースが続いており、既存の企業や商店とともに地域の発展や、人を沼田町に呼び込むきっかけになればと期待が寄せられています。

また地域おこし協力隊も7月1日から新たに2名、産業づくり支援員を1名採用するなど新たな人材とアイデアで今後の地域活性化に期待をしています。



▲左から横山町長、多田宏社長、金平嘉則はますい社長

新たな特産品開発へ

北斗興産株式会社

町の企業誘致活動により平成29年10月に本町工業団地に土地を取得し、プラスチックボトルの製造を行う新工場を建設予定のタスマン株式会社（多田宏代表取締役）が当初の目的の一つとしている「地域貢献事業」を行うため、町内に北斗興産株式会社を4月に設立し、7月19日（日）設立発表会が行われました。

北斗興産は、4月に水産加工会社の「はますい」（増毛町）

を子会社化しており、「北斗興産」と「はますい」で北海道にある豊かな農産物や海産物を合わせた新商品開発を行っていき、新たな特産品開発を目指していきます。

設立発表会で多田社長は「北海道で産業を興すことを目的に社名を決めた。食材豊かな北海道の素材に付加価値を付けて、地域の魅力を高めていきたい」と述べました。

地域おこし協力隊

三上裕貴さん



札幌市出身の三上さんは保健福祉課で地域福祉推進員として沼田町社会福祉協議会に勤務しています。

高齢者の見守りや外出支援機会の促進、ボランティアセンターの体制などを構築していきます。

小野寺亮さん



居合道が特技の小野寺さんは産業創出課で観光支援員として地域ブランドの醸成と発信を担うコーディネート組織の設立・運営のサポート業務などを行っています。

リニューアルオープン

味処 やま田

市内4で営業していた「味処やま田」が5月7日(木)本通3丁目に移転オープンしました。

2代目の山田昌希さんが経営していた同店を長男の大希さんが受け継ぐことが決まり、今回のオープンに繋がりました。

広々とした店内にはカウン

ターを含めて80席以上あり、各種会合を開催することも可能です。またWiFi(ワイファイ)設備や電子決済も導入されています。

お店を受け継いだ大希さんは「メニューも充実させて、多くの方が集まる店づくりをしたい」と夢を膨らませています。



新たな飲食店

千(せん)

町民になって12年目の深瀬千裕(ちひろ)さんが、役場前の空き店舗を改装し6月12日(金)飲食店「千(せん)」を開業しました。

雰囲気の良い店内ではビールやサワーなどの酒類のほか、だし巻き卵やタコのから揚げなども味わえます。

深瀬さんは「毎日楽しいで

す。沼田のまちが好きなんです。沼田で念願のお店を出せたことがうれしい」と話していました。

来店していた30代男性は「居心地がよくおつまみも美味しい、楽しくママとも会話できるので、また来店したい」と話していました。



産業づくり支援員

村上 慎吾さん



村上さんは紋別市出身で新たに産業創出課に「産業づくり支援員」として着任しました。

フードコーディネーターの村上さんは、コンサルタント会社や広告代理店などを経て、東京都内で人気洋食料理店を5年間営んでいましたが、店舗回りの再開発で止む無く閉店し、その後北海道のことをもっと知ろうと、ふるさと北海道に移住を決め、子育て世帯の移住支援策が充実している沼田町を移住先に決めました。

今後地場産品をエキスとして盛り込んだクラフトビールの開発やJR石狩沼田駅を会場としたイベント開催など食を活かした事業を展開していく予定です。

村上さんは「新しい産業を生み出すことで、人を呼び込めるまちにしたい」と今後の事業展開に向けて話していました。